

支援事例

商工会名	熊本市託麻 商工会	氏名	星子 健	情報開示の可否	可
支援テーマ	経営革新	題名	看板業界における新たな取り組み		
	販路拡大・販路支援				
	持続化補助金				

<支援企業の概要>

事業所名	工房からすま(株)	従業員	5 人	創業/ 会社設立	創業日	2017年8月1日
業種	他に分類されない製造業	うち家族従業員	0 人		業歴	7年7ヶ月

○企業概要

2012年個人事業主として熊本市東区神園にて開業、2017年8月法人成りを行い現在に至る。
看板等の『表示物』制作を中心としたプラスチック・木材加工業として、熊本県を中心に、看板、切り文字、ノベルティ品等のものづくり事業を展開している企業である。
代表は下積み時代を含めると約24年間、看板制作経験を有し、手書き文字を具体的に形にすることを得意としており、県内外の飲食店、レジャー施設等からの受注依頼が多い。取引のあった顧客の紹介やWeb集客等により受注件数を年々増加している。直近では、高いデザイン性と提案力が評価され、県外からの受注依頼も増えている企業である。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

【支援課題・支援計画】

（支援課題）経営革新認定・再構築補助金申請・事業実施に向けた資金調達

（短期計画）経営革新計画の作成支援及び再構築補助金申請支援

（中長期計画）事業実施に向け設備導入並びに資金調達

（現状分析）

自社の売上は伸びているが、看板業界においては、材料仕入れの高騰や人手不足など、厳しい実情がある。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりスマートフォンの普及等、SNS・インターネットを活用する消費者が増加したことにより、広報周知の方法も変化しており、今後DXが進んでいく中において、非常に危機感を持っている。

脅威・弱み【SNS・インターネットの普及による、広報周知の変化・広告看板依頼の減少】

・ビジネスチャンス・機会【加工技術・設備を有しているおり、大手企業の3分の1の価格で販売することができる】

・商品・顧客ニーズの把握【全国の中小・小規模事業者の同業者からのニーズは非常に高い】

・競合する店舗等【大手企業全国4社及び九州においては福岡・大分の2社】

【支援内容】

新たな事業展開に向け、事業内容の把握及び事業所の付加価値向上、事業資金並びにスムーズな設備投資に向けた体制作りを行った。そのため、まずは今後取り組む事業の内容を把握するため、工場を視察し、事業の内容を把握した後、企業価値を高めるために経営革新計画に取り組むとともに、事業実施に必要な設備等の洗い出し、導入による資金計画作成支援、それに伴う各種補助金申請に向けた支援を実施。

・新たな事業実施に向け、工場の視察の実施（大分の企業訪問）

・専門家派遣制度を利用し、経営革新計画及び再構築補助金の事業計画のブラッシュアップの実施

・設備投資に伴う事業資金の斡旋

・事業計画（利益率・利益額の計算・営業利益の算出等）

【支援後の状況・効果】

経営革新の申請並びに認定、再構築補助金の申請を行うことができた。また、事業計画の作成支援を行うことで、短期的・中期的・長期的の計画が見える化することができ、代表者の今後の目標・ビジョンを明確化することができた。

○今後について（目標や課題など）

・再構築補助金の結果を踏まえ、事業が円滑に行くように事業実施の伴走支援

・新たにニーズに対しての広報周知の支援

・新規事業に伴う人材確保